横浜天声キリスト教会　週報　第 17 巻 39 号（No.659）　2022 年 9 月 25 日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ヤコブ 1:5-6 ・・・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29番　いざ、聖徒よ
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・ 37番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 171番　はとのごと降る
礼拝のための祈り　・・・・・・・ 成田エクレシア：河執事　天声：小林伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 394番　主をあおぐもの
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・「しつこさ」を身につけなさい(ルカ 18:1-8)
御言葉を適用する祈り　・・ 会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 484番　こころにもだえあらば
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り　・・・・・・・・ パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ 3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

主は言われる、わたしが____に対していだいている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、____に将来を与え、希望を与えようとするものである。その時、____はわたしに呼ばわり、来て、わたしに祈る。わたしは____の祈を聞く。____はわたしを尋ね求めて、わたしに会う。もし____が一心にわたしを尋ね求めるならば、わたしは____に会うと主は言われる。わたしは____の繁栄を回復し、____を万国から、すべてわたしが____を追いやった所から集め、かつ、わたしが____を捕われ離れさせたそのもとの所に、____を導き帰ろうと主は言われる。（エレミヤ 29:11−14）

ご自身の御子をさえ惜しまないで、____のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜わらないことがあろうか。（ローマ 8:32 ）

メッセージ概要

イエス様が今回のたとえを話された目的は、いつも祈り続けるべきであって、失望してはならない事を、私達に教えるためである。「失望する」と訳された語エッカケオーは、「やる気を失う」「諦める」「落胆する」、そして現在形が使われているので、意図は「やる気を失った状態のままでいるな」「諦めたままでいるな」「落胆し続けるな」「むしろ、いつも祈り続けなさい」と教えるための、たとえである。祈りとは、主と意思疎通して、主と交わる手段である。つまり、主が私達に求めておられるのは、私達はいつも、主と交わろうという意気込みをもって祈り、常に主と意思疎通をはかろうとすべきだ、という事である。もしやる気を失っているなら、諦めそうなら、落胆しているなら、祈りにおいて積極的に主と交わりを求めに行くべきなのだ。

もし私達が、あまりにも主と関わろうとしないなら、主は私達を「祈らざるをえない状況」へと、どんどん持って行かれる。ペットは、無視し続けると、あごを乗せて来たり、色々いたずらして構ってもらおうとしに来るが、全能なる主を無視し続けるなら、どうなるか。病でも、敵でも、無一文でも、とにかく周囲のあらゆる物事を動かして、私達が主に叫び、祈り、頼らざるをえない状況へと、持って行かれる。経験はあるだろうか？

事実ヤコブは、それまで人の「かかと」を掴む事ばかり追い求め、主の約束を忘れて、人を押しのける生き方だったが、主は彼を、どうにもならない状況へと導かれたので、彼はようやく主と一対一で祈りの相撲を取る意気を持つようになった。そうして彼は、新しい名「イスラエル」と、祝福を勝ち取った(創世記 32 章)。

主は今回のたとえで、神を恐れず、人を人とも思わない不正な裁判官を引き合いに出された。そこに一人のやもめが彼のところにやって来ては、『私の相手を裁いて、私を守ってください。』と言っていた。原意は「私を告訴する者に対し、私の権利を擁護して下さい」である。つまり自分を不利に訴え攻撃しに来る敵に、正当なさばきを降し、わたしを擁護して欲しい、という訴えである。私達も日夜、訴えてくる者がある。それはサタンであり、敵対する人であったり、自分の常態化した病や、貧しさ、罪への欲情であったりする。

主は、不正な裁判官の言う事を聞きなさい、と言われる。『*このやもめがわたしに面倒をかけるから、彼女のためになる裁判をしてやろう。そうしたら、絶えずやってきてわたしを「悩ます(ヒュポピアゾー)」事がなくなるだろう*』(5 節)　このヒュポピアゾーは、目の下を打つ、非常にうるさくする、しつこく悩ます意味である。

主は、しつこさを身に着けなさい、と言っておられる。祈る事において、主と交わる事において。また、誰かを主に執り成す事において。主と出会うまで、願っている事を叶えて頂くまで、目の下を打つ勢いで、祈り続けなさい。主は、日夜祈り求める選民のために、正しいさばきをしないで放って置かれる事はない、と。

不妊だったハンナは、人から見れば酔っ払いに見えるほど熱心に祈った結果、サムエルという、時代を変える素晴らしい男子を授かった、ばかりでなく、さらに息子娘たちが与えられた(1サムエル記 1 章)。 ツロ・フェニキヤの女は、悪霊に憑かれた娘のために、あきらめずに取り成し続けたからこそ、娘から霊が出ていった(マルコ 7 章)。私達も、主が働いて下さるまで、目の下を叩き続ける「しつこさ」を持つべきである。

神を恐れず人を人とも思わない者に対しては、「しつこさ」が有効である、と、このたとえで直接示している。つまり、悪魔や悪霊との戦いや、自分の罪と戦う事においても、「しつこさ」こそ強さであると示しているのだ。

主に熱心に求め、願い続け、それに主が答え、主が動いて下さるという「分岐点」を超えた人は、主が確かに生きて働かれる、とますます実感し、主と親密になり、主との交流がますます深くなって行く。しかし分岐点を超える体験が無い人は、主との交わりは相変わらず浅いままで、そして、そのような人のほうが多数である、というのが実情である。『しかし、人の子が来る時、地上に信仰が見られるであろうか。』(8 節後半)

霊的戦いも、主との関わりも、「ゆずった・ゆずらない」「容認した・容認しない」という、意思と言葉の場所取り合戦で、言葉による見えない争奪戦が、見える世界を動かし、現実に影響を及ぼす。一人の弱いやもめが、不正な裁判官に勝ったのも、「しつこさ」が鍵だった。だから私達も、主には「祈り(ことば)」によって、しつこく、積極的に関わり、悪魔サタンに対してはしつこく真理の御言葉の剣を振るうべきであり、そして、取り成しの祈りにおいても、しつこく主にせがむべきである。この終わりの時代、主にしつこくせがみ、主から「信仰者がここにいる」と喜ばれる私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	礼拝 11:30
English Service	14:30

日々の集会

月～金　早天祈祷会	5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会	13:00～
火～木　夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会　19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 17 巻 39 号　　2022 年 9 月 25 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp